

# 胆振東部地震、震度7の厚真町

## 特養豊厚園は全員避難

6日未明の胆振地方を震源とした北海道胆振東部地震は、最大震度7の厚真町、震度6強の安平町をはじめ、札幌市内でも震度5から6を記録し道内全域で停電した。

「震度7の揺れで自分分は地滑りで大きく陥没し、当日夜には特養豊厚園は、内閣府によると、10日午前8時現在の高齢者関係施設被害状況は、北広島市、むかわ町の特養と軽費老人ホーム各1カ所で骨折・裂傷の人的被害、札幌市、苫小牧市、石狩市、むかわ町、安平町の特養5カ所、老健3カ所、経費漏れや建物亀裂と報告も断水の状況がわ町、安平町の特養5カ所、老健3カ所、経費漏れや建物亀裂と報告も断水の状況が



大きく陥没した特養豊厚園正面側の地面



豊厚園の正面玄関。10日時点では全員避難して誰もいない



施設内の様子。震度7の壮絶さを物語る



デイサービス入り口の看板も傾いた

# 建物に損傷、周辺で地滑り



2018年(平成30年) 9月13日 毎週木曜日発行  
発行所 株式会社北海道医療新聞社  
〒060-0042 札幌市中央区大通西6丁目(北海道医師会館)  
☎011(221)7777 ホームページ <http://www.medim.co.jp>

**特別紙面8ページ**  
今号は胆振東部地震関連記事を1、8面に掲載、特別紙面8ページとします。

損傷が激しく、ほとんどの窓ガラスが割れ落ち、あずま屋は崩壊。「被災直後は、配管断裂によってスプリンクラーの水が天井から漏れた」とも話す。入所者は特養と障害者支援施設合わせて113人。車いす利用が半数超だが、揺れが収まった時点で全入所者を素早く外に誘導。その後、町内3カ所の避難所に分散して臨時避難生活を送っている状態。

## 近隣10施設が自主的受け入れ

特養エンルムハイイツ(室蘭市)、特養白鳥ハイツ(同)、特養緑風園(登別市)、特養やすらぎ荘(新得町)のほか、白老町の障害者施設、苫小牧市と恵庭市の病院が自ら受け入れを申し出たという。各施設は、職員とリフト付きの送迎車を現地に向かわせ、全員避難完了。現在、各施設入所者とともに豊厚園職員も避難生活を送っている状態。



地面は陥没し、屋外階段が傾いた状態



崩壊したあずま屋は屋根がかろうじて以前の姿を残す